

槻川小学校だより「つきがわ」

広報「東ちちぶ」へ出張版

ーかしこく なかよく げんきよくー

春からすくすく育った稲が収穫の時期を迎えました
＝槻川小学校5年生が稲刈りに挑戦＝



9月28日（水）、スクールコーディネーターの関根高義さん（御堂）の田んぼにて、槻川小学校5年生が稲刈りを体験しました。

雨上りで泥かった土に足をとられながらも、児童の皆さんは稲刈りを真剣に取り組みました。そして、うまく刈り取れると稲を高々と上げ、先生やギャラリーに見せてくれた時の笑顔は凛々しかったです。

田植えから稲刈りまで体験することにより、「食卓にあるお米がおいしく食べられるのも、たくさんの方が頑張ってくれたおかげなんだ」と米作りの大変さを学んでくれたことでしょう。



ピックアップ村人

☆学校応援コーディネーターとして着任して良かったこと、つらかったことはありますか？

「おじさん!!今年の新米美味しかったよ!」「どんな話を今度はしてくれるの?」と子どもたちの真っ直ぐな心を受け止めた時、幸せを感じるね。

実は、今日は稲刈りだ!と予定していた日の天候が悪く、予定どおりいかない!と「やきもき」はする。でもね、子どもたちに感謝されると嫌なことも全部吹っ飛ぶんだ。

☆子どもたちと接することで、逆に学んだことはありますか？

毎年いろんな性格の子がいるのに驚かされるね。自分では当たり前だと思っていることを熱心に質問されるとまた学ぶことができるんだ。「向上心」でわくわくするよ。

☆今後の活動をおして、村の子どもたちに望むことは何ですか？

「東秩父村の文化」をもっともって知ってもらいたいよ。この村の歴史をどんどん覚えてもらうことによって、「古きをたずねて新しきを知る」、つまりは「温故知新」だ。活動をおして知ることによってこの村をもっと好きになってもらい、ずっと住み続けてほしい。そして今の子どもがお父さんお母さんになった時、その子どもも村を愛せるように、今知ったことを伝えていってほしい。それが私の生きてきた役割だと思うよ。

関根高義さん（78歳・御堂在住）、東秩父村学校応援コーディネーターを務めて8年目になる。

学校応援コーディネーターとは、地域に開かれた魅力ある学校作りの視点から、教科など学習指導や郷土を知る体験教育などを通して、いきいきと学ぶ子どもたちの育成を手助けする方々。高義さんはその先頭に立って活動しており、毎年小学校5年生に田植えから稲刈りまでの体験をおしてご指導いただいている。

なみなみならぬ情熱を持った方で、子どもたちからの信頼も厚い。インタビューをさせていただいた際も、確固たる信念を表現するトークに魅せられた。